

保護者の皆様

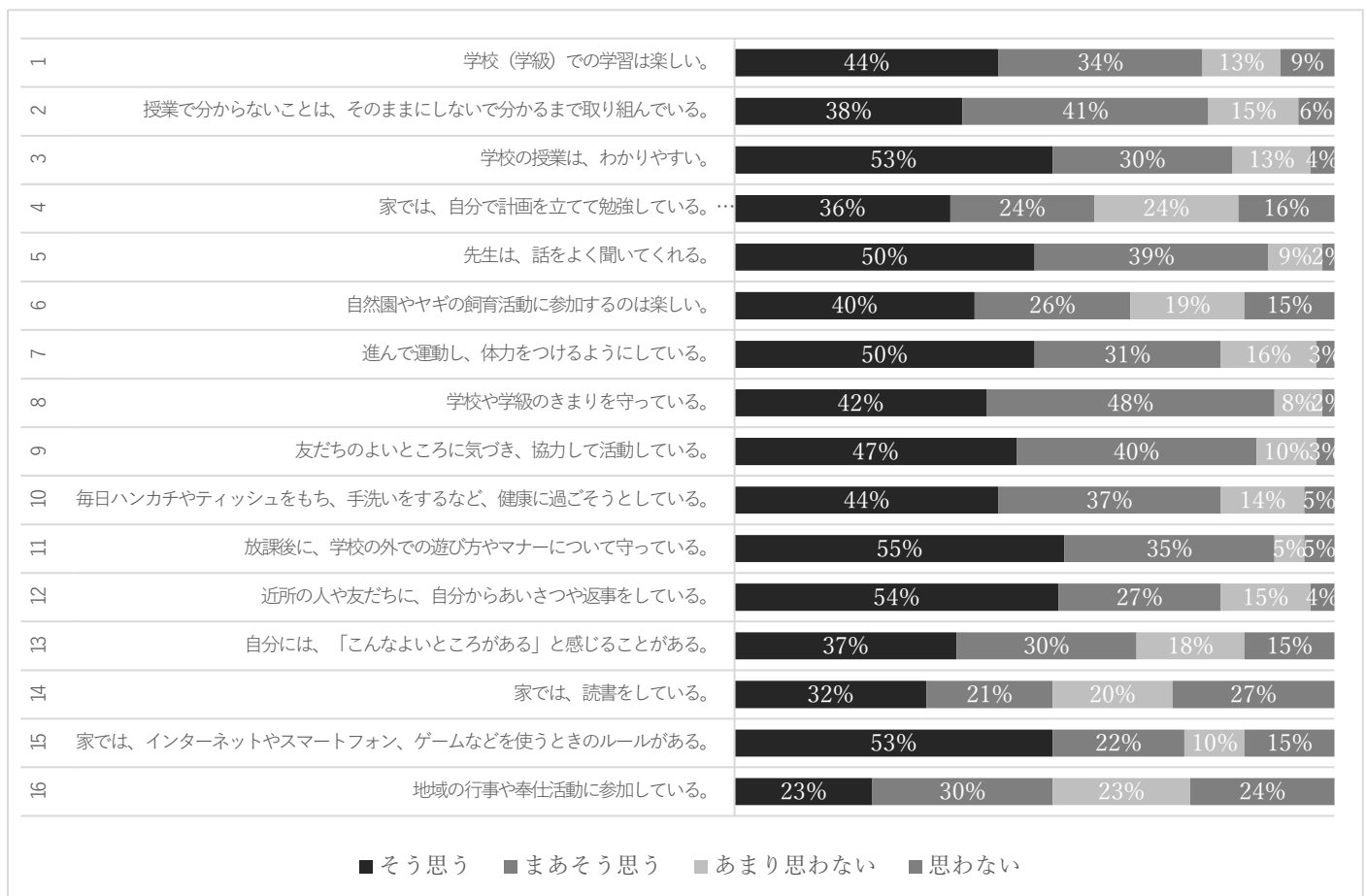
令和7年度 谷端小学校 学校評価アンケート集計結果

北区立谷端小学校

校長 清水 智子

保護者、地域の皆様におかれましては、お忙しい中、本校の学校評価にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。いただきましたご意見を基に来年度の教育課程を作成し、子どもたちのために豊かな教育活動が実践できるよう努力して参ります。

児童アンケート集計結果



- ・16項目中8項目が80%以上の肯定的な評価であった。
- ・③については、昨年度に引き続き校内研究の成果や少人数指導の充実、また ICT 機器の有効活用等など、ここ数年の取組の成果が見られた。
- ・④については、「そう思う」が10ポイント増え、「あまり思わない」が9%減少している。それぞれのご家庭での意識が高まり、家庭学習の内容の工夫や家庭学習を進んで行う習慣が定着している結果と考えられる。
- ・⑧については、学習規律だけではなく、普段の学校生活においても互いに気持ちよく温かい雰囲気で過ごすために何ができるかを、全校朝会でも取り組んだ結果、昨年度に引き続き90%以上の高い評価となった。
- ・⑨については、「Web-QU」から得られたデータを活用し、互いの違いを認め、よさを見出せるようになった成果と捉える。
- ・⑭「家では、読書をしている」という肯定的な回答が53%であった。一昨年度からみると10ポイント以上、昨年度と比較すると3ポイントほど増加している。本を身近なものとして読むことができるように、引き続き学校司書と連携した取組を行っていく必要があるとともに、家庭にも呼びかけをして読書をする習慣を付けさせたい。
- ・⑮については、昨年度よりも8ポイント減少し75%の肯定的な評価となった。高学年では「きたコン」の授業での活用に慣れてきたことで、様々な使い方ができるようになってきている。一方、学習以外で活用している実態がある。セーフティ教室等を通じて、スマートフォンやSNSの使い方やルールについても引き続き指導を行い、各家庭と連携して適切な使い方ができるように働きかけていく必要がある。
- ・⑯「地域の行事や奉仕活動に参加している」では、昨年度と同じように肯定的評価が50%を越える結果となった。引き続き地域と連携した取組を工夫し、滝野川のまちの魅力を学ぶ教育活動を工夫していく必要がある。

学校の取組に関して（保護者）

1	学校は、教育目標を分かりやすく伝えている。	28%	66%	6%
2	学校では、教え方を工夫して、主体的に取り組む授業を行っている。	32%	62%	6%
3	学校は、少人数指導を通して個に応じたきめ細かい指導の充実を図っている。	32%	46%	21%
4	学校は、宿題や課題を適切に与え、家庭学習が充実するよう工夫している。	31%	61%	8%
5	学校は、子どもの悩みや相談にのるなど、トラブルの解決に努めている。	25%	66%	8%
6	学校は、自然園やヤギの飼育を通して、生命尊重教育を進めている。	59%	38%	3%
7	学校は、子どもの体力向上に向けた活動を行っている。	18%	39%	34%
8	学校では、生活のルールを守る態度を育てている。	38%	60%	2%
9	学校は、道徳教育に力を注ぎ、思いやりの心や社会性を育てている。	35%	61%	4%
10	学校は、地域の人材や外部の指導者を招いた学習活動を工夫している。	38%	55%	7%

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

学校の取組に関して（学校評議員）

1	学校は、教育目標を分かりやすく伝えている。	67%	33%
2	学校では、教え方を工夫して、主体的に取り組む授業を行っている。	67%	33%
3	学校は、少人数指導を通して個に応じたきめ細かい指導の充実を図っている。	67%	33%
4	学校は、宿題や課題を適切に与え、家庭学習が充実するよう工夫している。	50%	50%
5	学校は、子どもの悩みや相談にのるなど、トラブルの解決に努めている。	67%	33%
6	学校は、自然園やヤギの飼育を通して、生命尊重教育を進めている。	75%	25%
7	学校は、子どもの体力向上に向けた活動を行っている。	33%	67%
8	学校では、生活のルールを守る態度を育てている。	58%	42%
9	学校は、道徳教育に力を注ぎ、思いやりの心や社会性を育てている。	58%	42%
10	学校は、地域行事や奉仕活動に積極的に参加するように働きかけている。	75%	25%

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

- ・保護者アンケートで10項目中8項目、評議員アンケートでは10項目で80%以上の肯定的な評価を得た。
- ・②では、一昨年度、昨年度に引き続き90%の高い肯定的な評価を得た。少人数指導や一人一人に応じた主体的な授業を行ってきた成果を認めていただいた結果である。
- ・④では、昨年度に引き続き90%以上の高い結果となった。学年に応じて内容を工夫したり、きたコンを活用したりした成果と考えられる。
- ・⑦では、昨年度と同様に他項目より低い結果となった。ここ数年に渡って行われているリノベーション工事により校庭やプールが使えなかったり、体育館が使用できない時期があったりしたことの影響が考えられる。体育館や屋上を有効的に活用し、制限のある中でも工夫した運動が行えるよう工夫していく必要がある。

家庭の取組に関して（保護者）

1	家庭では、子どもに家庭でのきまりやルールを決め、守らせるように心がけている。	44%	54%	1%
2	家庭では、家族同士であいさつをするように心がけている。	60%	38%	2%
3	家庭では、宿題や課題を基に学習の時間を設けている。	47%	39%	13%
4	家庭では、子どもが人に迷惑をかけたときに、きちんと叱るよう心がけている。	77%	23%	0%
5	家庭では、子どものよいところを認め、ほめるように心がけている。	57%	41%	2%
6	家庭では、子どもが読書をするような環境作りを心がけている。	25%	36%	28%
7	家庭では、インターネットやスマートフォン、ゲームなどを使うときのルールを決めている。	36%	53%	10%
8	家庭では、地域行事や奉仕活動に積極的に参加するように働きかけている。	13%	42%	38%

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

- ・8項目中6項目で80%以上の肯定的な評価を得た。
- ・⑥と⑧では、肯定的な評価が50～60%であり、一昨年、昨年度と同様に他の項目と比べて低い結果となっている。
- ・⑥については、肯定的な評価が52%から61%に増加しており、改善がみられた。引き続き、学校でも読書に触れる時間を確保し、新しくなった図書室を有効活用し、本を読むことが楽しくなるような学習活動を取り入れながら、家庭と連携して取り組む必要がある。
- ・⑧については、滝野川のまちの魅力を学ぶ教育活動を引き続き実践していく必要がある。また来年度は本校が90周年を迎えるので、行事に合わせて地域の皆様と取り組む機会を活用して保護者に働きかけ、多様な経験を促していく。